

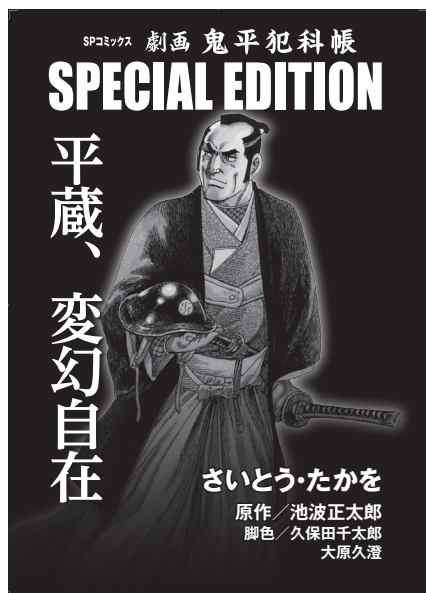
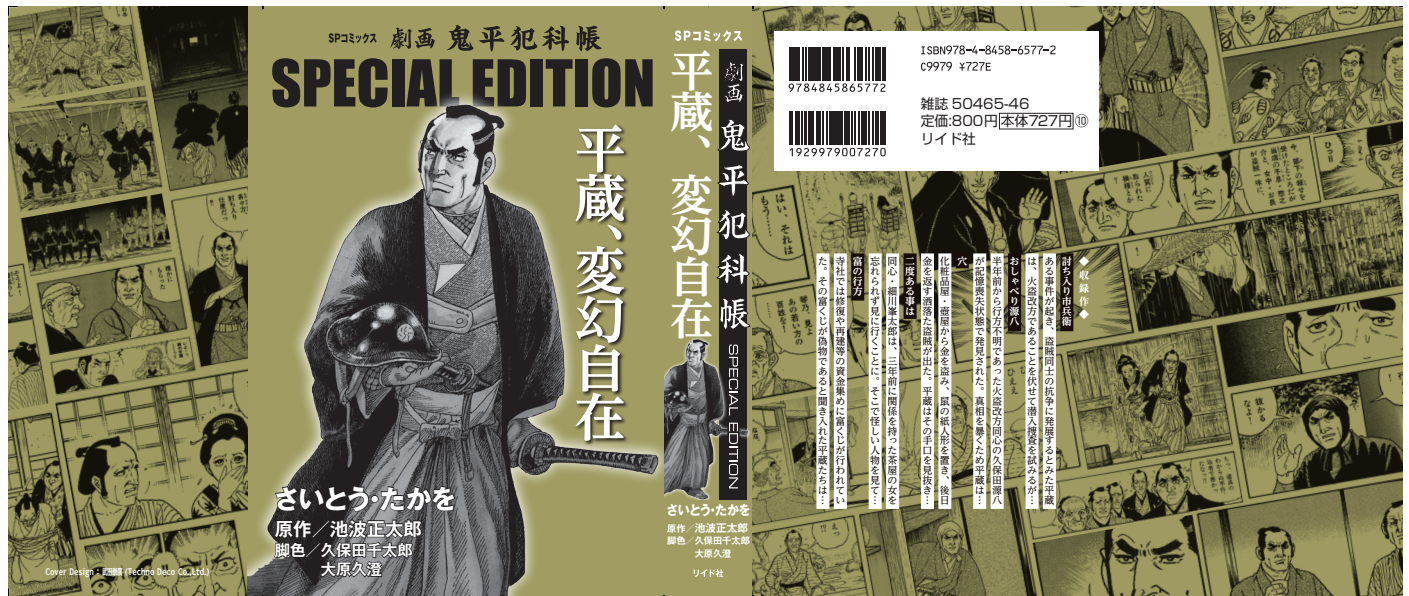
TECHNO DECO Co., Ltd. 武田 崇廣  
 エディトリアルデザイン / ロゴ / DTP

出版・サブカル領域を中心に活動  
 書籍・ムックの装丁を軸に  
 本文まで一貫して制作

■アニメディア・メガミマガジン特別号(イード社) / 雑誌 / 年2回  
 表紙・本文デザイン(レイアウト設計・図版構成)

■鬼平犯科帳選集(リイド社) / コミック / 表紙・本文デザイン  
 (レイアウト設計・図版構成)

文字もロゴも一切なし! メガミマガジン・アニメディア掲載のキュートなイラストをそのまま収録!!

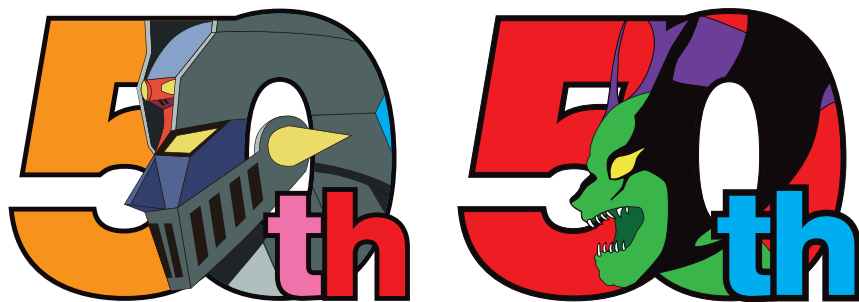




■最強王図鑑(学研) / ムック / 表紙・本文レイアウト(編集のラフスケッチをブラッシュアップ)



■動画でいちばんよくわかる空手道(日本文芸社) / 書籍 / 表紙デザイン / 本文デザイン(レイアウト設計・図版構成)



■マジンガーZ・デビルマン 50周年ロゴ(ダイナミックプロダクション) / ロゴデザイン(レイアウト設計・図版構成)



■闇の仕事人 KAGE(ナツメアタリ) / ゲーム / ロゴデザイン(レイアウト設計・図版構成)



さいとうたかを  
『鬼編犯科帳 - かわうそ先生』  
リイド社 2025年1月

---

初雪：生命力・謙遜や無垢な美しさを表す文様



さいとうたかを  
『鬼編犯科帳 - あきらめきれずに』  
リイド社 2025年8月

---

割菱つなぎ：生命力・繁殖力の強さにあやかった文様



さいとうたかを  
『鬼編犯科帳 - 夜針の音松』  
リイド社 2025年12月

---

敷き松葉：縁起物や不老長寿として使われた文様

## 読者が文化に触れる「入口」としての装丁設計

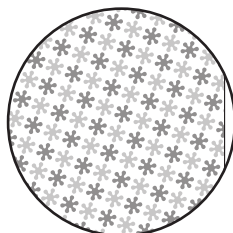
- モノクロ原画と和柄フルカラーを組み合わせた構成
- 和柄に文化的意味を持たせたデザイン設計

本作は、コンビニ流通向けとして刊行されている、さいとう・たかを著『鬼平犯科帳』(リイド社)シリーズの装丁デザインである。編集側からは、コンビニという環境において視認性を高めるため、作品世界以上に目を引く装丁が求められていた。

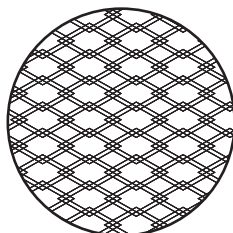
これに対し私は、従来『鬼平犯科帳』を手にとらない層にも関心を向けてもらうことを目的とし、江戸文化の要素を積極的に取り入れることを提案した。具体的には、江戸時代に用いられていた文様を背景に配し、発売時期やタイトルに応じて文様を選定している。原画の力を損なわないようモノクロ表現を基調としつつ、和柄をフルカラーで配置することで、物語世界と文化的文脈の両立を図った。

文様は単なる装飾ではなく、当時の価値観や願いが込められた文化的図像として位置づけられている。漫画を入口として江戸文化に触れ、文様の成り立ちやデザイン性へと関心が広がることを意図した装丁である。本作では、『鬼平犯科帳』という商業メディアを通じて、文化史やデザイン構造を日常的に提示する試みを行った。

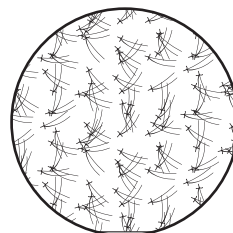
文様は、刊行時期・物語内容・江戸文化の象徴性を基準に選定している。



『かわうそ先生』  
秋冬／収穫



『あきらめきれずに』  
夏／躍動



『夜針の音松』  
冬春／再生